

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	機能訓練事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			TEL 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	心身の機能が低下している方で、医療終了後も継続して機能訓練の必要な方に対し、心身の機能の維持回復を図るために必要な訓練を行い、日常生活の自立を支援することを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	原則として40歳以上65歳未満の市民の方で、脳卒中等により心身の機能が低下した退院後間もない方	対象とした数	116,953	人
		実際に 利用した数	433	人

活動の内容	(何を したか)	機能訓練事業(リハビリ教室)・・・保健センターにおいて、週1回、6ヶ月間の通所期間の中で、日常生活動作の訓練等を実施する。①理学療法として歩行、起き上がり等の基本動作の訓練を実施 ②作業療法として食事及び衣類の着脱等の日常動作訓練や作業訓練を実施 ③精神的自立を促すための個別指導、趣味活動、仲間づくりの支援を行う ④家庭における訓練の指導等を実施							
活動実績	項目名	リハビリ教室	86	項目名	リハビリ教室	433	項目名	リハビリ教室	単位
			----- 単位 回			----- 単位 人			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	10,894	7,776	28,349	83.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	一日あたりの参加者出席率 (閉じこもり予防、再発防止、機能維持)	延べ参加人数÷回数÷15 (1日あたり15名まで対応可能)	100	33.5	33.5
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	* 現状どおり		増額		減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
		拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []		終了
	予算	現状どおり		増額		減額		終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040900	TEL	2991-1811		
事業コード	機能訓練事業							
040909	保健福祉部 成人保健課							
開始年度		昭和	58	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画・健康日本21所沢市計画			老人保健法			
	関連・類似事業	訪問指導事業、健康相談事業、健康教育事業、介護予防サービス提供事業						
総体計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱	2 生涯を通じた健康づくりの推進	小柱	(4) 生活機能低下予防事業の推進

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	コード	1111	コード	3261	コード	
	市民の知りたい情報の提供	事務事業見直しの推進				
事業開始の背景	機能訓練事業については、平成10年度の保健センター開設に伴い、機能訓練室を整備し事業を開始した。					

④前年評価と改善点	目的(何のために、具体的に)					
	心身の機能が低下している方で、医療終了後も継続して機能訓練の必要な方に対し、心身の機能の維持回復を図るために必要な訓練を行い、日常生活の自立を支援することを目的とする。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)					
	原則として40歳以上65歳未満の市民の方で、脳卒中等により心身の機能が低下した退院後間もない方					
⑤経費	対象者		単位		利用数の考え方	
	平成 18 年度	116,986	人	平成 18 年度	502	人
	平成 19 年度	116,953	人	平成 19 年度	433	人
事業の具体的な内容及び実施方法						
機能訓練事業(リハビリ教室)……保健センターにおいて、週1回、6ヶ月間の通所期間の中で、日常生活動作の訓練等を実施する。①理学療法として歩行、起き上がり等の基本動作の訓練を実施 ②作業療法として食事及び衣類の着脱等の日常動作訓練や作業訓練を実施 ③精神的自立を促すための個別指導、趣味活動、仲間づくりの支援を行う ④家庭における訓練の指導等を実施						

⑥指	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
個別訓練だけでなく、グループ訓練(集団プログラム)を重視し、参加者の仲間づくりへの支援を行うとともに、精神的自立を導き出せる事業展開を図った。また、家族に対して、家族の日の開催や集団プログラムへの参加を促すことで家族支援を行った。						

⑦一次評価	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		11,648	10,894	9,901	
	決算(見込み含む)		8,708	7,776		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(1.80 人)	(人)	(0.35 人)	
	正規職員人件費		1.23 人	11,316	2.19 人	20,573
	公債費					
	事業費合計		20,024	28,349		
	財源内訳	一般財源	18,762	26,969	9,901	
		国・県支出金	1,262	1,380		
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		59.3	83.6		
	利用数一単位あたり(単位:円)		39,888.4	65,470.8		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑧二次評価	項目名	リハビリ教室	計算方法	実施回数	単位	回	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	リハビリ教室	延べ参加者数	人			89	86	92	
							502	433		
成果分析	一日あたりの参加者出席率(閉じこもり予防、再発防止、機能維持)	延べ参加人数÷回数÷15(1日あたり15名まで対応可能)	%	目標値	100	100	100			
			%	実績	37.3	33.5				
			%	達成率	37.3	33.5				

⑨個別計画における方向性	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
明らかとなった課題	リハビリ教室の開始及び修了時期を統一し、一体的に実施した結果、障害者同士の交流が図れ、参加者の仲間づくりの場を提供することができたとの声がある反面、事業の途中で参加を希望する方は、次の開始時期まで待機しなければならないという問題が生じたため、今後の課題として検討する必要がある。			

⑩二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	機能訓練が必要な市民に対し、家族やボランティアとの連携をさらに深め、日常生活の自立を支援する	年間を通した円滑な事業の実施を目指す	平成21年3月末
	平成21年度における事業の方向性		
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由	機能訓練は、心身の健康保持及び機能維持を支援するものであり、現在、家族やボランティアの協力を得て進めているが、今後も継続的に実施していく必要がある。しかしながら、障害者を取り巻く環境の変化や制度の見直し等も常に視野に入れておく必要があり、総合的に事業の改善・効率化を図っていくことも重要である。		
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長 細江 松子

⑪二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日						

⑫個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				